

仙人通信 137 真富士山 (第一:1343 m・第二:1401m)

真富士山は、駿府城の鬼門の神が祀られている竜爪山の北側に位置する竜爪山塊の山で、ハイキングコースが整備され手軽に登れ、富士山の展望台として有名な山である。新東名の静岡から梅ヶ島温泉に向かう県道沿の平野地区から林道を登り、車が4台ほど駐車できるスペースのある第3登山口(約800 mの海拔)に車を置いてのスタートである。丁度ミツマタの黄色い花が一面に咲き、登山道にある小さなお地蔵さんを飾る。登山道は、杉の落ち葉に埋もれた静かなコースで、山体を左手にして、南方向に進む。30cm程の可愛いお地蔵様が200 m程の間隔で安置され、横には白いボードに禅の言葉だろうか?一句が綴られており、意味を考えて進む。登山道は杉林の中30分程進むと先方から瀬音が聞こえ、水檜やブナ等の落葉樹に囲まれた2段の小さな滝だ。その前方上に大きな岩盤が50度程の傾きで、圧倒する。この地は西側(安部川沿い)に十枚山断層が走り、山体の東側には小淵沢・静岡突上断層(糸魚川・静岡構造線)がある。その影響で、東側が持ち上り形成されたものと思われ、しばし息を飲んで観察だ。岩質は粗面岩・流紋岩の溶岩が主流であるが、紫蘇岩石や泥岩中に化石も散見される。小さな沢を越え、再度檜林の中を20分程進むと、『オイ平』という第一・第二真富士の間を結ぶコースと第一真富士の先の真富士神社奥院を結ぶコースの分岐だ。沢の頭を巻く様に、破碎岩のコースを奥院に向け進む。落葉樹林の山道は一昨日降った雪(2cm程)が山肌を埋めるも、今朝からの好天気ですは柔らかくアイゼンを付ける程でもない。『オイ平』から35分程で、尾根筋にある小さな祠の奥院である。ここから向きを北に変え、2つの山頂を目指す。赤松に混じりブナ・アセビ・リョウブの尾根コースだ。3cm程の雪のコースを15分程で第一真富士の山頂だ。南東が開かれた山頂からは、清水の先の三保の松原・駿河湾を挟み伊豆半島の先頭まで・伊豆箱根の山並みに愛鷹山、そして真白な富士山が見事である。先日登った白鳥山とゴルフ場も北限として確認できた。山体の東側は断層の関係もあり、鋭く抉られている感じだ。休憩後第二真富士との間の鞍部(1230 m)に向う。ロープの張られたコースを20分程下降するとオイ平との分岐となり、見上げるとかなり高い所に山頂が望める。コースは狭い岩尾根でロープを頼りの登りだ。両側には、5月にピンクの花を付けるイワウチワの赤味の葉が一面で眩しい。15分程で1つのピークを越し2番目の鞍部・更に痩せ尾根に挑戦である。10分程で緩やかなコースへ……。梢越しであるが、北岳から聖岳へと連なる真っ白な南アルプスと安部川西岸に横たわる山波が綺麗だ。第一から丁度1時間で第二真富士の山頂へ。視界は狭く南側は愛鷹まで、北側は白鳥山までの富士山だ。休憩後、先程の分岐まで戻り、檜林の中をオイ平から車に戻る4時間25分(17500歩)の山登りでした。(h 28. 3. 17)

青空にミツマタ



沢近くの岩盤



第一真富士からの富士

